|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | がんアライアワード2021　応募シート |

貴団体名

従業員数

業種

担当者

メールアドレス

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■記入するときのポイント

①各項目のチェックリスト□に該当する場合は、対象の□にカーソルをあてて左クリックをしてチェックマーク☑を付けてください。

②各項目のチェックリスト□を参考に記入してください。がんに特化した仕組みではなくてもかまいません。たとえば「柔軟に休みがとれる仕組みが

ある」「健康面の不安など気軽に相談できる窓口がある」など、治療しながら働くことにプラスになる取り組みについて記入してください。

③過去に応募くださった企業様は、前回のエントリーと異なる取り組み箇所を、可能な範囲で結構ですので赤字で記入してください。

④**記入いただいた内容は、がんアライ部のウェブサイトやSNS・表彰式当日の事例紹介として各所に掲載します。**

審査に必要と思われる情報で、掲載不可の情報がありましたら、蛍光ペン (黄色)で指定してください。

※昨年度受賞企業事例集もご参考にしてください。　<https://www.gan-ally-bu.com/report/2591>

【風土づくり】

[ ] がんに罹患した際、役職者や人事担当を含めて、すぐに会社を辞めなくていいと伝わる風土づくりをしている

[ ] がんへの理解を深める教育や検診・休暇など、制度が使いやすい風土づくりをしている

|  |
| --- |
| ＊がんに罹患しても働きやすい風土づくりを行うために、取り組みを進めていることを具体的に記入してください |

【相談できる環境づくり】

[ ] がんに罹患した社員が、上司に仕事や治療のことを相談できる環境がある

[ ] 人事担当が、がんに罹患した社員の治療や勤務に関して、外部の医療従事者と相談する環境がある

|  |
| --- |
| ＊がんに罹患したときに相談できる体制づくりについて、取り組みを進めていることを具体的に記入してください |

【制度】

[ ] 　社員の健康増進やがんを早期発見するための取り組みがある

[ ] 　がんに罹患した際、治療を支援する制度や復職時に働きやすい制度がある

|  |
| --- |
| ＊がんに罹患したときに本人が使える制度として、取り組みを進めていることを具体的に記入してください |

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■続いて、取り組みを行われている団体の方は、がん治療と仕事の両立に関する取り組みを実施したきっかけを

お教えください。

|  |
| --- |
| 例）社内のメンバーががんに罹患したことがきっかけで、人事担当者ががんセミナーを開催するようになった 等 |

■上記の風土づくり・相談できる環境づくり・制度の各項目に記載されていない「がんと就労」の取り組みや

実際に社員が罹患した際のご対応に関するエピソードなどがあればご自由にお書きください。

|  |
| --- |
|  |

以上です。ご記入いただき、ありがとうございました。